

DP4

## SAAS を利用したデジタルパソロジー・コンサル

### テーションシステムの構築

## Composition of SAAS-based Digital Pathology Consultation System

福岡順也<sup>1)</sup>、上紙航<sup>2)</sup>、高橋毅<sup>3)</sup>

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 情報病理学<sup>1)</sup>、亀田総合病院 臨床病理科<sup>2)</sup>、  
株式会社 N Lab<sup>3)</sup>

Junya Fukuoka<sup>1)</sup>, Wataru Uegami<sup>2)</sup>, Tsuyoshi Takahashi<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup>Department of Pathology Informatics, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences,

<sup>2)</sup>Department of Pathology, Kameda Medical Center, <sup>3)</sup>N Lab Co Ltd.

=抄録=

長崎大学では非腫瘍性肺疾患を中心とする呼吸器疾患のコンサルテーション症例を全国から受けている。しかし、複数の施設に所属する病理医や呼吸器内科医がこれらの症例の登録や診断に同時アクセスすることは困難であった。この問題を解決するために SAAS (Software as a Service) システムのコンサルテーションポータル構築を行った。

インターネット VPN 接続を利用して登録ユーザーを制限した状態で病理医が臨床情報、放射線画像、および病理 WSI (Whole Slide Imaging) を閲覧し、シノプティック方式で診断を入力するフォーマットを構築した。病理診断後、呼吸器内科医や放射線医との合同カンファレンス (Multidisciplinary Discussion Diagnosis: MDD) を経て総合的な最終診断を確定する機能を搭載した。症例の登録はユーザー登録されたどの施設からでも行うことができ、複数の施設間でのコンサルテーションネットワークの構築につなげた。本システムによるデジタルパソロジーコンサルテーションの運用について紹介する。

図 SAAS デジタル  
パソロジーコンサル  
テーションシステム

